



# すたすた

苅田町青少年育成町民会議だより

祝

苅田町青少年育成町民会議設立20周年記念

「宮本延春」講演会

“オール1先生”からのメッセージ

人は、夢・目標があれば変わるんだ！

2009.1.31

苅田町青少年育成町民会議では、著書『オール1の落ちこぼれ、教師になる』で全国に知られる熱血人気教師、宮本延春先生をお迎えし、講演会を開催しました。

宮本先生は、身振り手振りを加えながら、会場の皆様を引き込み、夢を持つことの大切さ、人との出会いの素晴らしさを熱く熱く語っていただきました。（関連記事 P2）



オープニングセレモニーは、苅田中学校リード部のハンドベルの演奏



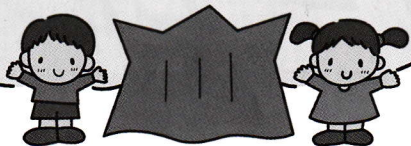
心豊かでたくましい

青少年の育成を目指しましょう。





## 子どもの大事な サインを 見逃していませんか？



子どもは、親の顔色を見えています。親が心に余裕を持ち、優しい微笑を浮かべていると子どもは必ず親に困ったことを相談してきます。子どもが相談してきたときは、「掃除や食事の支度の最中であっても、手を休め、子どもの側に座り、しっかりと耳を傾け、最後まで話を聴いてください。決して、子どもの話をささげって途中で意見を言うのはやめてください。親がまくし立てて話を聞きだすことは絶対にしないでください。子どもは『○○ちゃんからいやなことを言われた。』など、自分の都合のよいことしか話しません。しかし、本来は本人に非があることもかなりあります。話は、1日で聞きだそうとせず、じっくりと子どもと毎日話し合ってください。子どもがうそを言ったりすると必ず矛盾点ができます。一番大切なことは、とにかく子どもの話を黙ってうなずきながら聴いて、聴いて、聴いてあげてください。「つらかったね」と共感すること「あなたの味方だよ」という言葉を常にかけてあげてください。

間違っても「何で今まで黙ってたの?」「そんなことで逃げててどうするの?」「あなたにも何か問題があるんじゃないの?」などと子どもを追い詰めることはやめてください。

### ～非行防止学習会のご案内～

福岡県では、青少年が抱える問題について経験豊富な講師の派遣を行っています。どなたでも活用できますので、詳細は下記にお気軽にお問い合わせください。

福岡県新社会推進部青少年課指導係

TEL 092-643-3388  
FAX 092-643-3389  
Eメール seisho@pref.fukuoka.lg.jp



## ストップ非行県民運動

福岡県の刑法犯少年検挙補導者数は、平成15年から穏やかな減少を見せているものの、依然として全国的に高い水準で推移しています。

苅田町では、平成18年からモデル地域に指定され、ボランティアを中心とした街頭活動の強化や青色パトカーによる巡回活動を実施し、非行の減少を図っています。



←夜間補導の様子 西部公民館にて

### ▽苅田町の刑法犯少年検挙人数

16年	17年	18年	19年	20年
110人	81人	78人	43人	32人



### 犯罪発生の減少に大きな成果

目標として、18,19,20年の3年間で16年度比30%減という期限設定で活動してきましたが、結果として(上記参考)71%減(△78人)という、目標値を大幅に上回る数値であったと思います。

このように、これからも大きな成果をあげるために、行政と警察、学校が連携をして非行防止に取り組んでいきます。

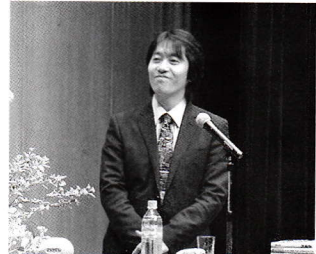


### 宮本延春 講演会を振り返る

通信簿はオール1、落ちこぼれのいじめられっこ。16歳で母親を亡くし、父親は重い病気に。追い討ちをかける生活苦。たった独りで社会の荒波に放り出され、不安と絶望で生きている気がさえも失くしかけていた。

ある日、恋人から薦められて観たアインシュタインの相対性理論をわかりやすく解説したビデオに衝撃を受けた。九九もできない、漢字も書けないオール1の男が相対性理論に感動!?その日から「物理学を学びたい」という夢に向かって突き進む事になる。

小学3年のドリルで基礎からの勉強。夢は膨らみ、中卒のオール1の学力の男が、国立大学で物理学を研究する勉強を続けた。そのうちに、骨身を惜しまず指導してくれた先生や、温かく見守ってくれる人たちと出逢った。天涯孤独で数え切れないほどの絶望を体験したが、信頼できる人たちの出会いのお陰で、無謀と思えた夢を実現させることができた。



確固たる夢をもてば、人は誰でも強く前向きに生きていくことができるんだと、みんなにそのことを伝えたい...と。

熱い拍手の中、講演が終了した。  
(関連記事P1)





# かるた大会 開催

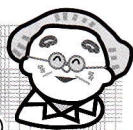
平成21年1月18日(日)総合福祉会館



知的なゲームである「かるた大会」を通じて、子どもたちの健全育成を図るとともに、地域子ども会活動の推進と交流を目的として活動しています。参加した子どもたちは、最初は「イベント」として参加している様ですが、結果が出るころには、チームの戦いとしてとらえている姿が見受けられます。「来年は絶対に勝つぞ!」と言っているのにビックリします。今はまだ、100名程度の参加ですが、この言葉に来年のかるた大会への思いが強くなっています。

また、苅田町では大人の部もあります。

## バァ〜バァの一言 No.9



ある日の事、2,3歳の男の子が大きな袋を「よいしょ!よいしょ!」と持って、お母さんの後を歩いていました。多分、お母さんの手伝いをしていたのでしょう…。その子に小声で「すごいね」と声かけをすると、得意げにスタスタ歩いていきました。子ども達の未来も捨てたモンじゃないなあ〜と癒されました。

幼児〜小学3年生位の頃は、お手伝いが大好きな時期です。手は取りますが…。でもその後の「ありがとう」は子どもの成長には、とても大きいものがあります。奉仕の心等社会性を育てるには、この時期がいいのかなあ〜と考えますね。大きくなってからは、させる方も体力と忍耐がいります。この時期はあそびながら学ばせるので、ストレスがたまりませんね。「ありがとう」の言葉は心豊かにまた生きがいの感動をもたせてくれます。よく母親が言っていました。「人の為になれ…」と。そこで感謝され、「ありがとう」が存在するのでしょうか。

将来、幸せになりたいですね〜。「若い時には苦労をなさい」とも言いますね。苦労は避けて通りたいですが「苦労の後には幸が…」と書いてある本を読みました。なんとなく納得。子どもの育児も苦労の工夫が大事ななあ〜とバァ〜バァ〜は感じますのじゃ…。おわり

## 子ども会をご存知ですか?



↑ ↓ 夜須高原にて



子ども会は子どもの組織とそれを育成する組織の2つがあります。前者を子ども会、後者を育成会と呼びます。自治会、町内の中に子ども会、または育成会として存在しています。育成者同士が共通課題を持ち、活動、運動をしています。子ども同士のかかわり、親同士のかかわり、親子間のかかわりなどで群れて遊ぶ大切さを知る場でもあります。それらが町内の課題発見につながり、自治的集団への芽生えにもつながっていきます。

子ども会、育成会に入会して我が子にとって、地域にとって…の共通課題を発見、あるいは新しい人とのつながりを探しましょう。



中央公民館第1会議室  
苅田町子ども会育成連合会  
090-4589-3200  
(田口まで)

## ジュニア・リーダー募集中!



町内、京築、福岡…と活動が広がります。プログラムづくり、会の進行、危険予知などの研修会を重ね、イベントなどに参画していきます。社会性を育み、健全育成への影響は大きいものがあります。

対象者：新中学生、高校生

問合せ先：苅田町子ども会育成連合会



# 「家庭の日」・「オアシス運動」町内入選者発表

＝前号のつづき＝

※皆さん、入選おめでとうございます。(敬称略、順不同)

あいさつ 菊田中2年 成松 加奈子

私はあいさつをすることは、周りを明るくすることだと思います。

私はいつも、人からあいさつされるととてもいい気持ちになります。自分からあいさつをして相手からあいさつが返ってきた時は本当にいい気持ちになりますし、とてもうれしい気持ちになります。

私はある日、朝からお母さんに怒られて、とても嫌な気分でした。でも学校に行くくて、先生や友達が「おはよう」と声をかけてくれた、嫌なことも忘れて、とても明るい気持ちになることができました。家に帰るとお母さんがやさしく「おかえり」と言ってくれました。私はその日、あいさつをしてくれる人達のおかげで、明るく楽しい一日を過ごすことができました。あいさつは、自分自身を明るくすることでもできます。あいさつから生まれる明るい気持ちをもっとたくさん増やしていこう、きつと明るい世界がどんどん広がっていくと思います。だから、まず自分からあいさつをたくさんしていきたいと思います。そして自分の周りの人達が、あいさつのすばらしさに気づいてくれたらいいな、と思います。

私はこれから、いままでもっと、あいさつをたくさんしていきたいと思います。そして、自分が周りの人達にもあいさつでいいな、と思わせることができればいいな、と思います。また、周りの人達も、もっといろんな人達にあいさつのすばらしさを伝えてくれたらいいな、と思います。自分の周りの人達からそのまた周りの人達、そして学校全体と、どんなあいさつのすばらしさが伝われば、日本全体が、あいさつのできる明るい国、そして、世界があいさつでいっぱいになって明るくなったら本当にいいな、と思います。

あいさつとは、周りを明るくするすばらしいことです。私はこれから、どんなにつらいことがあっても、あいさつをすることを忘れずに、生きていこうと思います。あいさつをしていけば、つらいこともきつと乗り越えていけると思うからです。そして、周りの人達を明るい気持ちにしてあげることができたらいいな、と思います。

## 「家庭の日、オアシス運動」

新津中2年 高田 真裕子

私の家族は、父、母、弟と一年前から一緒に暮らし始めた、祖父と祖母、それから愛犬の「空」も加えて6人と一びきの家族です。大人数ののでいつもにぎやかで一緒に食事をしていて、思われるかもしれないが現実には、違います。まず、父は仕事で忙しく、平日は朝早く家を出て、夜は二十二時すぎくらいしか帰宅しません。私も朝は早いので、朝食はみんなと食べる事ができません。部活が午後の日は帰りが六時半〜七時の間になります。私たちは学校、母も仕事に行くので、あわただしく朝食を食べなければなりません。私は、朝が苦手なので朝食を食べずに部活に行く時があります。夕食も父は不在なので、5人で食べる事がほとんどです。そして私たちが寝る準備の間に父が帰宅し、一人で夕食を食べています。だから、平日は、5人家族の感じですが、でもそんな忙しい父ですが朝、でかける時は「じゃあ、行ってくるね!」と私たちに声をかけてくれます。そして帰宅した時も「ただいま!」とみんなに声をかけてくれるので父とのコミュニケーションはとれていると思います。母も祖母も弟も同じです。でも祖父は、日頃から口数が少ないし、口べたなのか、自分から「あいさつ」は、苦手な様であまりしてくれません。だから祖父とのコミュニケーションはうまくいってません。私は、なるべく自分から「あいさつ」をしようと思います。が、やはり、相手もすぐ返してくれないと寂しい気持ちになります。休日は、私も部活がある事が多いのでなかなか家族でそろって外出は、できませんが、この夏休みは、初めて、みんなで山口の須佐へ旅行に行きました。大の空も一緒だったので大型の自動車をレンタルして2泊3日の旅でした。日頃、口べたな祖父も楽しそうでした。食事もう久しぶりに6人がそろって食卓を囲んで、とてもにぎやかでした。私もとても楽しかったです。だからたまには、一家そろって外出したり、食事をしたりする事がとても大切だと思います。オアシス運動の「おはよう」「ありがと」「しつれします」「すみません」の声かけは、人と人との心を通じあわせる最良の手段だと思うので、苦手な時もあるけど、なるべく自分から声かけしていこうと思っています。

ほし  
「わん太はこうい

馬場小1年  
木原康平

そら  
二年たわはしほ

与原小2年  
高橋 翼

大地  
三年木下もえり

与原小3年  
木下萌梨

仲間  
四年宮崎大志

与原小4年  
宮崎大志

使命  
五年植野聖也

与原小5年  
植野聖也

地域  
六年牧 夢人

与原小6年  
牧 夢人

天空の  
星辰  
中一  
千代丸彩夏

与原中1年  
千代丸彩夏

おじちゃん

「おはようございます」  
南原小2年 川口 幸紀

毎朝、ぼくたちが学校に行くとき、近じよのおじちゃんが、しんごうのところで「おはよう」とあいさつをして、見おくつてくれます。

ぼくが、一年生のころは、はずかしくて「おはようございます」とちいさなこえでしかあいさつができませんでした。おじちゃんには、ぼくたちが、こう通じこにあわないうように見てくれています。

ぼくが学校に行くのが、おそくなったときは、ずっとぼくが行くまでまっけていてくれた「川口くん、今日はおそかったな、どうしたか。」と、しんばいしてくれました。わすれものをしたときも、「川口くん、わすれものか、わすれものしたらいかんよ。」と言ってくれます。おじちゃんには、毎日ぼくたちのことを、しんばいしてくれて、やさしい人だなと思っています。

おじちゃんが、朝、しんごうのところにいないときは、前の日に教えてくれます。おじちゃんがいない日は、すこしさみしくなります。

ぼくは「年生。二学からは、しんばいをかけないようになつたりしないように、がんばろう。

あいさつも、大きなこえで、「おはようございます。」と、はっきり言えるように、がんばろうと思います。

これからも、毎日ぼくたちを、ずっと見おくつてほしいです。おじちゃんだけでなく、先生や友達たちにも、はつきりと大きなこえで、あいさつをしようと思います。

(作文は原文のまま掲載しています。)

## 20年度 県入賞者

部 門	賞	学 校 名	名 前
標 語	優 秀 賞	新津中2年	倉地 玲那
〃	奨 励 賞	新津中1年	鬼木 優花
ポスター	奨 励 賞	南原小1年	穴見 真菜
〃	奨 励 賞	南原小6年	嶋田有 理奈
〃	奨 励 賞	新津中2年	西本 晴菜
書 道	奨 励 賞	馬場小1年	久保田 茜音



毎月 第3日曜日は 「家庭の日」

—「うち」の家庭教育をそれぞれつくろう—

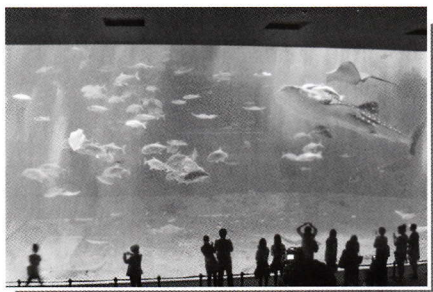


# 沖縄修学旅行



中学生達は、2月下旬から3月上旬にかけて沖縄へ二泊三日の修学旅行に行ってきました。旅行中は晴天にも恵まれ「沖縄」を満喫することができました。福岡空港から空路、那覇空港へ向かいました。初めて飛行機に乗る生徒がほとんどなので飛行機が離陸するときは大きな歓声が起きました。

今回の修学旅行の目的は、平和学習、沖縄の文化と歴史の学習そして沖縄の自然を体験することです。生徒達は事前に地上戦や在日米軍の基地問題などについて学習しました。実際に「糸数壕」や「沖縄県平和記念資料館」「平和の礎」「ひめゆりの塔」などを訪れることで、さらに「戦争の悲惨さ」や「平和の大切さ」を感じることができました。タクシー研修では「首里城」や「美ら海水族館」「万座毛」「道の駅かでな」など沖縄の文化や歴史、自然に関する施設を訪れました。体験学習ではサトウキビを収穫し黒糖を作ったりシーサー作りをしたり、シーカヤックに乗ったりと沖縄の自然を満喫することができました。





# “PTA文部科学大臣表彰受賞”

南原小学校PTAは、みんなが参加できる無理のない楽しいPTAをめざして次のような活動をしてきました。

- 地域と連携したバザーやあいさつ運動
  - 子どもの安全確保活動の日常化の実践  
(メール配信システムの構築と活用)
  - PTA学校行事毎の役割を担う協力システム
  - 自ら学び、自ら積極的に活動することをモットーに会員の資質向上をめざす取り組み
  - 「基本的生活習慣」「食育」をテーマにした「新家庭教育宣言」の取り組み
  - おやじの会による子どもの教育環境整備
- このような取り組みが評価され、皇太子同妃両陛下ご臨席のもと今回の受賞となりました。



△受賞報告のための町長表敬訪問



△運動会でのバザー協力



## 役員・委員講演会開催される

1. 日 時 平成21年2月26日(木)
2. 場 所 三原文化会館大ホール
3. 講 師 北九州市教育委員会  
スクールガードリーダー 杉元 忍 氏
4. 演 題『最近の社会情勢と青少年の非行について』



講演内容は、若年層の犯罪の多発など、現代社会を反映しての家庭教育のあり方、そして家庭・地域で子どもたちを守るため家庭・学校・地域住民・関係団体などの連携がより一層重要になってくるといったことを主なテーマとし多くの事例を交え、ご講演を頂きました。  
当日大変お忙しい中、ご参加を頂いた皆様、ありがとうございました。



第20回 総会



白庭どんど焼補導



イカダ大会



子どもフェスティバル



オアシス人形劇



朝の声かけ運動

“継続は、力なり。”

荊田町青少年育成町民会議  
20年度1年間の活動

編集・発行  
荊田町青少年育成町民会議  
すこやか編集委員会  
☎093・434・9838



20年度すこやか編集委員  
委員長 松枝 玲子  
委員 庄野 和子  
荒鬼 文子  
石田 正枝  
金丸 晴樹  
三浦 豊

「編集後記」  
「昨日、新聞紙上等で「食料需給率」という言葉をよく見かけるようになりました。食料需給率とは、我が国で消費される食料のうち、どの位が国内でまかなわれているかを表わしており、言いかえれば、国内で必要な食料をどの位外国に頼っているかと言うことでもあります。  
現在、我が国の食料需給率40%、世界の主要な先進国の中でも最下位にあると言われています。食料需給の問題は、国の安全保障ともからめて大変重要な問題であります。私を含めてこの問題を切実に感じている人がどの位いるのでしょうか。  
一方、「食料廃棄率」25%、年間2千万トン前後が廃棄されており、食料輸入量が6千万トン位ですので、大量に輸入しては3分の1はゴミとして捨てていることになります。  
将来予測されている気候の変動や人口の爆発は、深刻な食糧不足を招くと言われています。豊かな社会や生活を否定する気は毛頭ありませんが、我々の命の糧となる食べ物に関しては、『もったいない』と言った古い価値観も大切にすることがあるのではないのでしょうか。」  
金丸 晴樹